

# Volunteer network

主任神父様・信徒会長様・教区ボランティア・ネットワークの皆様

## 新潟市内の避難者にお節料理を届けました 新潟・震災ボランティア会議の活動記録

大震災から 10 か月、在新潟・震災ボランティア会議では、ささやかに活動を行ってきました。新潟県には、3.11 震災発生直後から、県外からの避難者が急増し、3 月末の時点で 9,222 人、12 月末で 7,076 人の方が、県内全域で生活していらっしゃいます。新潟県民は震災を経験しているの、恩返しの気持ちで避難してこられた方々を迎えてきたように思います。

夏の終わりごろ、福島第 1 原発から 20 キロ圏内の避難区域に位置する福島県南相馬市小高地区から 3 人のお子さんを連れて、9 か所の避難所を巡ったのち、新潟市江南区の旅館に避難している女性の話を聞く機会がありました。ごく身近なところに、このような家族が生活していたことに驚き、東北地方の沿岸部だけでなく、県内の避難者への支援について具体的に考え始めるきっかけになりました。

新潟市東区には、震災避難者交流センターがあります。センターを何度か訪ねた時、お正月を、こちらで過ごさざるを得ない人が、多くいらっしゃる事を聞き、それならと 12 月 30 日の午後、新潟教会の厨房に約 10 名の有志が集まり、会員の石川さんの故郷、新津に伝わる、海のもの、山のもの、縁起ものを入れた雑煮や、煮物、酢の物などを大晦日に届けました。

元旦にはたくさんの方が集まり、喜んで召し上がったとのことでした。量が多かったこともあり、元旦には雑煮を、そして 2 日～4 日は交流センターが休みだったため、5 日に煮物と分けたそうです。持ち込んだ鍋を引き取りに行ったところ、丁度、皆さんが集まり、煮物を堪能！してくださっているところでした。センターが満員で私たちの入る余地がなく管理者と話をして帰ってきました。

あまりの好評に気を良くし、次回は花見の頃に、また被災者の方と一緒に、と考えております。

もし都合のつく方がいらっしゃったら参加してみませんか？ (在新潟・震災ボランティア会議 K 記)

東日本大震災に関する新潟県報道資料 (1 月 20 日 16 時発表分)



新潟県 県外避難者の受入状況	
公営住宅・雇用促進住宅等	880 人
借上げ仮設住宅	4,997 人
親戚・知人宅等	978 人
病院	81 人
高齢者関係施設	111 人
障害児・者関係施設	3 人
合計	7,050 人

市町村別	
新潟市	2,430 人
柏崎市	1,520 人
長岡市	490 人
新発田市	395 人
三条市	274 人
上越市	236 人
胎内市	183 人

\*皆さまのボランティア活動について、また、震災支援活動についてお知らせください。

新潟教区ボランティア・ネットワーク 教区本部 大瀧浩一 窓口 佐久間香子(080-6523-2482)

(ボランティア・ネットワーク登録数 96 人 + 13 グループ)

